令和８年度　三田小学校 学校経営プラン

三田市立三田小学校

１　学校教育目標

『 ひとも自分も 学校もふるさとも 大切にできる 三田っ子の育成 』

～学びに向かう力・ゆたかな心・たくましい体で「未来を切り開く力」を育む学校～

２　学校経営の基本方針

急激な社会的変化が進み、将来の変化を予測することが難しい時代を迎えている。新たな時代を生きる子どもたちには、確かな学力（学びに向かう力）とともに、自分のよさや可能性を信じ、多様な人々と協働しながら新しい価値を生み出し、持続可能な社会の創り手、そして、幸福な人生の担い手となり得る力**『未来を切り開く力』**を身に付けることが求められている。

そこで、時代の変化を機敏にとらえ、多様な立場の者と協働しながら課題解決に向かう教育を推進するため、教職員が組織の一員としての自覚と責任と情熱を持って、お互いに知恵を出し合い、協働する一つのチームとして職務に当たることができる学校経営を推進する。

（１）学校教育目標の実現に向け、教職員、児童、保護者、地域住民の共通理解と連携・協働のもと、本校の実態に応じた教育課程の編成を行う。
（２）質の高い、深い学びの実現に向けた授業改善の組織的な推進を図る。
（３）今日的な教育課題及び本校の課題に対応する校内研究、校内研修の充実を図る。
（４）学校評価の結果分析を教育活動の工夫改善に生かす。
（５）教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にした専門職にふさわしい資質の向上に努める。
（６）学校行事の工夫した取組や、会議や打ち合わせの精選、運営方法の工夫など、教育活動の工夫・改善を進め、「働きがい」がある職場づくりを進める

３　めざす児童像

≪ひとも自分も、学校もふるさとも、大切にできる子≫（八景中学校区共通目標）

・友だちと支え合い、認め合う子（人間関係形成）
・誰にでも優しく、思いやりと感謝の心をもって接する子（人間関係形成）
・自分のいいところや夢や目標が語れる子（自己実現）
・学校、地域が大好きな子（社会参画）

≪最後まであきらめずに、やりとおそうと努力する子≫

・興味・関心・意欲をもって、進んで学習する子
・自信を持って進んで行動し、自分らしさを発揮する子
・夢を持ち、目標に向かって最後まで粘り強く取り組む子

≪自分からあいさつができる元気な子≫

・自分から笑顔であいさつする子
・進んで運動し、元気で活力のある子

4　教育指導方針（重点目標）

（1）「学びに向かう力」の育成

① 教員の指導力向上･児童の学力向上に資する教科担任制の効果的な実施
② 特別活動での対話的､問題解決的な学びと教科の学びが往還する授業改善の推進
③ ICT 機器を有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する学習指導の工夫
④ 読書習慣の確立と読書意欲を高める手立ての工夫
⑤ 学習規律と学習習慣（自主学習）の確立
⑥ 豊かな情操を育てる音楽科、図画工作科、読書活動の充実

（2）「ゆたかな心」の育成

① 自尊感情（自己肯定感）を高め、粘り強く取り組む姿勢を育てる特別活動の推進
② より良い人間関係の構築と自己実現に向けた自己指導能力の育成（生徒指導）
③ 道徳科授業づくり研究の成果を生かした道徳教育の充実
④ 共に生きる社会の構築に向けた主体的な実践的意欲と態度の育成（人権教育）
⑤ ふるさと三田を愛する心の育成
⑥ 社会的自立と職業的自立に向け、基盤となる能力や態度の育成（キャリア教育）

（3）「たくましい体」の育成

① 望ましい食生活の啓発と食育の推進
② 「食物アレルギー対応マニュアル（三田小学校版）」に基づく、安全性を最優先とした組織的な体制の構築
③ 防災教育、安全教育の推進
④ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」分析を生かし、主体的に運動に取り組む意欲、態度の育成

（4）多様な教育的ニーズに応じた教育の推進

① 自立と共生の実現に向けた特別支援教育の充実
② 多様な価値観や今日的な人権課題の理解促進に向けた指導の充実
③ 子どもの自己実現を目指す組織的な発達支持的生徒指導体制の充実
④ スクールカウンセラー、医療、福祉、教育等関係機関等と連携した校内教育相談（「子育て相談」、「SC によるなんでも相談」）の充実

（5）地域とともにある学校づくりの推進

① 学校運営協議会（コミュニティ･スクール）による学校、家庭、地域の連携体制の充実と共に子どもを育てる仕組みの活性化
② 地域の教育力（学校支援ボランティア等）を積極的に活用した教育活動の展開
③ こども食堂や有馬高等学校等の地域資源を積極的に活用した教育活動の展開
④ 「みんなで育てよう（八景中学校区の子どもたち）」に基づく校種間連携の展開
⑤ オープンスクール､ホームページ等を活用した教育活動の公開と学校評価の充実

５　めざす学校像

『児童・保護者・地域に信頼され、誰もが誇りに思える学校』
〇地域にあたたかく見守られ、子どもたちが毎日笑顔で登校する安全で安心な学校
〇地域の教育力（学校支援ボランティア等）を生かした地域とともにある学校
〇自分の好きなことや学校や地域のために実現させたいことに挑戦できる学校

６　めざす教師像

〇魅力的な授業で、子どもたちの知的好奇心を満足させる教師（ワクワクする学び）
〇切磋琢磨し、互いに指導力を高めることができる教師　　（壁の低い教室）
〇多角的、多面的視野を有した人権感覚豊かな教師

・子どもを大切にする教師	（教育的愛情）	：人間力
・教育への情熱を持っている教師	（使命感）	：責任感
・常に向上しようとする教師	（専門性）	：指導力
・課題を共有し協働する教師	（連携と「強み」の発揮）	：チーム力

７　職務上の留意点

（１）　教職員間の情報共有と相互理解を図る。（チーム意識）
（２）　児童にかかわる対応は、慎重かつ敏速を心がける。（早期発見・早期対応）
（３）　児童の小さな変化を敏感に察知する。（不登校・いじめ・虐待の未然防止）
（４）　業務改善に努め、児童とかかわる時間の確保に努めるとともに、自己の健康管理に努める。
（５）　報告・連絡・相談（管理職・同僚）を徹底する。

≪参考資料１≫　令和７年度 学校通信 年度末号から抜粋

児童の学びに向かう力を高める「教科担任制」に！

【来年度に向けて】

教科担任制を推進する上で保護者の皆様にお伝えしてきた教科担任制の目的は、
①教員の指導力向上･児童の学力向上 ②複数教員の関与による児童の多面的な理解
③中１ギャップの解消　④授業準備、教材研究の効率化による教員の働き方の見直し でした。
アンケート結果から、保護者が効果的と受け止められているのは、上記の目的②、③に関する部分が大きいと感じます。また、④の視点、「教員の働き方の見直し」に言及された意見も多くいただきました。その意見に教員は勇気づけられました。

しかし、「学びに向かう力の高まり」の評価において、保護者、教員の評価で「わからない」が多くを占めた結果からも、目的①の視点「教員の指導力の向上･児童の学力向上」については実感の伴う成果につながっていないと感じています。一層の授業改善を進める必要があると考えています。

令和8年度、三田市教育委員会指定研究「新たな指導体制構築事業（2年次）」を受け、特別活動を軸に、主体的･協働的な学習集団づくりを進めていきます。子ども達が、特別活動で経験する対話的で、問題解決的な学びが他の教科でも生かされ、保護者、児童、教員が、教科担任制での「学び方」の変化が実感できるよう授業改善を推進していきたいと考えます。来年度の3年生以上での教科担任の具体は、4月の学年通信や学年･学級懇談会の場でお伝えします。

≪参考資料２≫　令和７年度からの三田小学校研究体制について

１　研究テーマについて

三田市教育委員会指定　新たな指導体制の在り方研究（２年次）
特別活動を軸にした主体的・協働的な学習集団づくり

２　研究推進部会で進める特別活動の研究

（１）学級活動を中心とした研究（全体授業研究、学年・学団授業研究）
　○学級活動（１）児童の自治的活動の研究（継続）
（２）学校行事、児童会活動・委員会活動・クラブ活動の研究（実践研究）
　○児童主体の活動への転換　○縦割り班活動（スマイルタイム）の推進
（３）教科等との往還研究（理論研究）
　○「特別活動と教科等を往還する授業改善の視点」の作成

３　教育課程・学力向上部会が中心に進める授業改善の実践

（１）教科担任制の円滑な実践とその効果の検証（中・高学年）
（２）主体的・協働的な学びへの授業改善の実践（全学年、専科、ひまわり）
　○「特別活動と教科等を往還する授業改善の視点」を活用した授業改善
　○授業実践と一人一授業の公開・交流
（３）４０分授業への展開に向けた課題検証（複数年継続課題）
　○４０分授業導入の課題検証と学び方の転換の方向性を検討